

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 元 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		交通安全対策事業				②事業番号		3219									
③事業類型		8. 人件費事業		④開始年度		昭和 56 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし							
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		○ 要綱		計画等		その他		法令等の名称: 泉南市交通事故をなくす運動推進本部設置要綱			
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード		款		7		項		2		目		2		細目		6	
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		環境整備課				会計		一般会計					

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 市民		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市民が交通事故を起こさないように団体の事務局を当課に置いて、大阪府及び警察と連携をとって交通安全街頭啓発等をする。		① 会議の開催回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
市民が交通事故にあわないよう、街頭啓発活動や講習会等を行い注意喚起している。		① 街頭啓発活動等		回	
		計算式			
		②			
		計算式			
		③			
		計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
市民に、交通安全に対する認識を持ってもらう。		政策(章)		4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち	
		施策大(節)		2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします	
		施策中		3 交通安全の推進	
		施策小		1 交通安全教育の推進	

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	市民	人	62,549	61,918	61,372	—	—	
対象指標②								
活動指標①	会議の開催回数	回	1	1	1	1	1	
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	街頭啓発活動等	回	6	6	6	6	6	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,329	2,351	2,236	2,236	2,236	
	直接事業費	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費	千円	2,329	2,351	2,236	2,236	2,236	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	—
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,329	2,351	2,236	2,236	2,236	

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	交通事故の防止を図ることを目的としている。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	全国的に高齢化社会になり、交通事故に対する注意は、今以上に求められるものになると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	市民に交通安全思想を普及させている。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市民の交通安全を目的とした事業で、市民に直結した大事な市の事業である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	全国的にも高齢者の交通事故の割合が増加しており、警察と連携して啓発活動を行う必要がある。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市民の交通安全対策の事業なので休止・廃止はできない。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **B**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	市民の交通事故がなくなるよう、交通安全指導や啓発活動を行ない成果が上がるよう努めている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	市民1人1人に意識してもらうよう、実地講習等で成果を上げるように啓発している。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	教育委員会に学校・学生を対象とした事業はあるが、市民対象の事業はない。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民のボランティア活動による協力も得ている。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民全体の交通安全事業なので、受益者支援になじまない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

A	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—